

◆「古き良きまちなみ」や「まちに集う人の息づかい」などを撮ってみませんか

“うえのまちのええとこ” フォトコンテスト作品募集

【問い合わせ】 中心市街地推進課 ☎ 22-9825 FAX 22-9628 ✉ shigaichi@city.iga.lg.jp

うえのまちまちづくり協議会では、あなたが残したい“うえのまち”の写真を募集しています。入選者には賞品があります。

【応募部門】

- **日常部門**：後世に残すべき“うえのまちのええとこ”を写した作品
- **イベント部門**：うえのまちを舞台とした祭・イベントを写した作品

【応募方法】

写真に応募票を添付して郵送または持参してください。

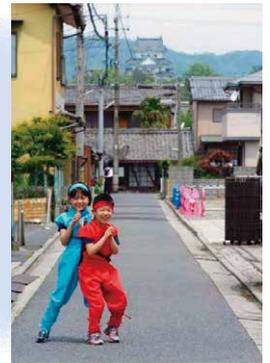
※詳しくはパンフレットをご覧ください。パンフレットは中心市街地推進課・各支所・各公民館・各地区市民センターにあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。

【応募期限】 令和2年1月31日(金)

【応募先】

〒518-0873 上野丸之内500番地
ハイトピア伊賀 2階
うえのまちまちづくり協議会事務局
(中心市街地推進課内)

平成30年度入賞作品



◆ 取り組みを紹介します

伊賀・山城南定住自立圏～水と歴史でつながる圏域～

【問い合わせ】 総合政策課 ☎ 22-9620 FAX 22-9672 ✉ sougouseisaku@city.iga.lg.jp

同じ生活圏域の市町村が連携して、医療・産業振興・公共交通などを圏域全体で確保し、住民の定住につなげるための取り組みとして、平成28年10月に伊賀市・京都府笠置町・南山城村の3市町村により「伊賀・山城南定住自立圏」を形成しました。そして「共生ビジョン」に基づき、圏域の活性化や住民の利便性の向上に繋がる事業に取り組んでいます。

この1年間の主な取り組みについて紹介します。

◆ 伝統芸能「かんこ踊り」講演会を開催



圏域に伝わる伝統文化を学習することを目的に「かんこ踊り」講演会を開催しました。かんこ踊りの伝承を通して地域に伝わる民俗芸能の保存や課題について見識を深め、参加者同士の交流を図りました。

圏域に伝わる伝統文化を学習することを目的に「かんこ踊り」講演会を開催しました。かんこ踊りの伝承を通して地域に伝わる民俗芸能の保存や課題について見識を深め、参加者同士の交流を図りました。



◆ 消防団出初式などへの相互参加

3市町村の消防団の相互応援体制を整え、災害時の迅速な対応による被害の軽減を目的に、各市町村の出初式などへ相互に参加しました。今後も団員の交流を活発にし、地域防災力の充実と強化につなげます。

◆ 圏域の周遊につながる旅行プランの商品化

バス会社において伊賀市、南山城村を周遊するバスツアーが企画・実施されました。引き続き、旅行会社などに周遊プランを提案し、商品化をめざします。

今後も3市町村で連携した取り組みを進め、住み続けたい、魅力ある圏域をめざしていきます。



◆ 菜の花の種子を配布します

菜の花 (ナタネ) を栽培しませんか

【問い合わせ】 農林振興課 ☎ 22-9713 FAX 22-9715 ✉ nourin@city.iga.lg.jp

市では、環境にやさしい農業の実践と資源循環型社会の構築をめざし、菜の花プロジェクトを推進しています。また、このプロジェクトから生まれた伊賀産菜種油に「七の花」と名前をつけ、地域の特産物としています。

菜の花の栽培面積を拡大し、遊休農地などを解消するため、希望者に搾油用・景観用の菜の花の種子を配布します。

【配布時期】 9月2日(月)～10月11日(金)

【申込方法】 申請書に播種予定ほ場の地名・地番・面積を記入し、位置図を添付して持参または郵送してください。

申請書は農林振興課にあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。

【申込期限】 9月30日(月)

【申込先】 農林振興課

～菜の花プロジェクト～

地域内に資源循環の輪を創ることで地域の活性化をめざす活動です。

- ①菜の花を栽培する。
- ②菜種油を生産する。(地産地消、地域の特産物)
- ③使い終わった油(廃食油)を原料にしてバイオディーゼル燃料を製造する。
- ④燃料を農業機械などに利用して、菜の花を栽培する。



栽培暦

8月	9月	10月	11月～1月	2月	3月	4月	5月	6月
		(発芽)	(越冬)			(開花)		
▲	▲	▼	▼	▲	▲	▼		▲
土づくり	種まき			追肥①	追肥②			収穫

お知らせ 社会を明るくする運動
作文コンテスト 結果発表

社会を明るくする運動伊賀市推進委員会では、犯罪や非行のない地域社会をどのようにして実現できるのか、家庭や学校での体験をもとに考えるきっかけとして、市内の中学生を対象とした作文コンテストを毎年開催しています。

今年は市内の中学校 10校が参加し、11点の作品が入賞しました。

～審査結果～ ※敬称略

【最優秀賞】

中村 喜結 (壺峰中学校3年生)

【優秀賞】

山本 雅大 (崇広中学校2年生)

松岡 大夢 (緑ヶ丘中学校3年生)

藤平 梨音愛

(大山田中学校3年生)

【奨励賞】

溝口 有希子

(緑ヶ丘中学校2年生)

福森 葵 (城東中学校3年生)

花井 美音 (上野南中学校3年生)

橋本 もえ (柘植中学校2年生)

西 知哉 (島ヶ原中学校1年生)

川合 美優 (阿山中学校3年生)

加藤 優太 (青山中学校2年生)

【問い合わせ】 医療福祉政策課

☎ 26-3940 FAX 22-9673

お知らせ 9月10日は「下水道の日」

下水道は、私たちが日頃の生活で使用する洗濯機・お風呂・台所・トイレからの汚れた水を、下水道管を通して下水処理場へ運び、微生物などの働きを利用し、きれいな水にして自然に還元しています。

また雨が降ったときには、雨水管を通して川などに流し、浸水からまちを守っている地域もあります。

このように下水道は、私たちの快適で衛生的な生活を確保するとともに、河川など公共用水域の水質保全に大きな役割を担っています。

その下水道施設を長く、快適にお使いいただくため、次のことに注意してください。

- 油を流さない。
- 自然にやさしい洗剤を使う。
- 髪の毛など、水に溶けず、排水管が詰まるようなものを流さない。

近頃、水に溶けない異物が下水道管に詰まり、下水道施設の故障が頻発しています。

「下水道の日」を機会に、一人ひとりが心がけましょう。

【問い合わせ】 下水道課

☎ 24-2137 FAX 24-2138

三重とこわか国体

開催まであと **772** 日

広報・運営・応援
ボランティア募集中

【問い合わせ】

国体推進課

☎ 43-9100 FAX 43-9102



もっと知りたい!
伊賀のこと

毎月1問、伊賀に関するクイズを掲載します。

【問題】

市文化財に指定されている幾何学が赤色、解答文の文字が青色で書かれていたと推定される算額があるのは、()です。

- ①恵美須神社
- ②菅原神社
- ③敢国神社
- ④春日神社 (答えは10ページ)